



# 福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

# 学 報

2017.12.4 号外

## 三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。  
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。  
生命を尊重し、自然を畏敬する。  
個性を伸展し、紐帯性を培う。  
未来を志向し、可能性に挑む。



# 祝

## サッカー部

第66回全日本大学サッカー選手権大会出場  
(2年ぶり10回目)

出場  
おめでとう!



福山大学イメージキャラクター  
「ふくりん」

# 第66回(2017年度)全日本大学サッカー選手権大会出場!

## 【総評】

この度、第40回(2017年度)中国大学サッカーリーグ(1部)において第2位となり、第66回(2017年度)全日本大学サッカー選手権大会への出場を決めました。(2年ぶり10回目)

◎前期リーグ戦： 5勝2敗2分

◎後期リーグ戦： 6勝2敗1分

◎トータル： 11勝4敗3分

順位		IPU・ 環太平洋大学	福山大学	広島経済 大学	広島大学	徳山大学	広島修道 大学	吉備国際 大学	山口大学	福山平成 大学	岡山大学	勝 数	負 数	引 分	勝 点	得 点	失 点	得失 差
1	IPU・ 環太平洋大学		1-0 1-1	4-1 1-0	5-0 9-0	4-1 5-1	4-0 2-1	0-0 4-1	9-0 2-1	6-2 9-1	2-0 3-0	16	0	2	50	71	10	61
2	福山大学	0-1 1-1		1-3 1-1	3-1 3-2	4-2 3-3	3-0 0-1	7-0 6-1	11-2 0-1	6-1 7-0	6-0 6-3	11	4	3	36	68	23	45
3	広島経済 大学	1-4 0-1	3-1 1-1		1-2 0-1	0-0 2-1	3-3 2-1	4-2 3-1	4-1 9-3	4-0 3-0	7-0 1-0	11	4	3	36	48	22	26
4	広島大学	0-5 0-9	1-3 2-3	2-1 1-0		2-3 4-1	2-3 2-1	3-0 4-1	6-0 5-2	4-0 5-1	2-1 3-1	12	6	0	36	48	35	13
5	徳山大学	1-4 1-5	2-4 3-3	0-0 1-2	3-2 1-4		2-1 2-5	6-1 2-4	3-1 2-1	5-1 5-1	3-0 7-0	9	7	2	29	49	39	10
6	広島修道 大学	0-4 1-2	0-3 1-0	3-3 1-2	3-2 1-2	1-2 5-2		2-3 5-1	6-0 4-0	7-1 0-1	5-3 1-1	8	8	2	26	46	32	14
7	吉備国際 大学	0-0 1-4	0-7 1-6	2-4 1-3	0-3 1-4	1-6 4-2	3-2 1-5		2-0 4-3	3-0 6-4	4-3 3-2	8	9	1	25	37	58	-21
8	山口大学	0-9 1-2	2-11 1-0	1-4 3-9	0-6 2-5	1-3 1-2	0-6 0-4	0-2 3-4		1-0 3-1	4-0 2-1	5	13	0	15	25	69	-44
9	福山平成 大学	2-6 1-9	1-6 0-7	0-4 0-3	0-4 1-5	1-5 1-5	1-7 1-0	0-3 4-6	0-1 1-3		2-4 3-2	2	16	0	6	19	80	-61
10	岡山大学	0-2 0-3	0-6 3-6	0-7 0-1	1-2 1-3	0-3 0-7	3-5 1-1	3-4 2-3	0-4 1-2	4-2 2-3		1	16	1	4	21	64	-43



### ・サッカー部HP

<http://web.fukuyama-u.ac.jp/student/circle/soccer/index.html>

### ・サッカー部ブログ

<http://fukudai06.blog43.fc2.com/>

### ・サッカー部facebook

<https://www.facebook.com/fukudaifootball>

### ・サッカー部Youtubeチャンネル

<https://www.youtube.com/user/fukudaisanzo>

### ・サッカー部twitter

@fukudaisanzo

数字が示す通り、今シーズンのリーグ戦では磐石な戦いができたわけではなく、波に乗り切れない展開が続きました。それも、昨シーズン(2016年度)のレギュラーメンバーの8~9名(11名中)は4年生が占めており、彼らが引退・卒業したところからのスタートでした。当然、経験不足のチームでしたので、何が起きても動じないという覚悟を持って今シーズンをスタートさせました。そのような中、最終的に全日本大学サッカー選手権大会の出場権を獲得できたのは、学生の飛躍的な成長があったからです。中山キャプテンを中心に、ビデオ映像を使ったゲーム分析~ミーティング、そこから導き出したトレーニングメニューの構築、メンバー選考等々、学生主体でチームを作り上げてきました。リーダーたちの成長に伴い、練習の質と強度も上がり、だんだんと頼もしいチームに変化しています。1回戦までにどれだけ強化できるかが勝負です。2017年度に1回戦を突破して以来、全国大会での勝利はありません。久しぶりの全国大会での勝利を目指し、1回戦までの期間、厳しい練習を乗り越えていきます。

### 【第66回(2017年度)全日本大学サッカー選手権大会】

○日 時：12月13日(水)13:30~

○場 所：浦安市運動公園陸上競技場(千葉県)

○対戦相手：関西大学



## 学長祝辞

### 学友会サッカー部おめでとう！学年を越えて支え合う！

学友会サッカー部の皆さん、平成29年度第66回全日本大学サッカー選手権大会出場権の獲得、誠におめでとうございます。中国地区大会での接戦を制し、第2代表の成績を勝ち取りました。早朝あるいは授業後の夕刻からの日頃の練習と努力のたまものです。よく頑張りましたね。主将と2人の副主将は4年生ですが、レギュラーチームには1年生から4年生までほぼ均等におり、しかも監督やコーチの指示を待って動くのではなく、学生たちでチーム作りを行って自主的に活動を行ってきたとのこと。スポーツを通して、将来にわたって役立つ素晴らしい社会人基礎力を身につけていますね。これぞ大学のスポーツ。全国大会では「まず1勝」を期待しています。

学長 松田 文子



## 監督から一言

今年のチームの強みは「主体性」です。リーグ戦では、主将を中心に試合から課題を見つけ、練習メニューを考え、メンバーを決定するサイクルを選手主体でやりきってくれました。勝ったり負けたり紆余曲折ありましたが、選手みんなで逃げることなく乗り越えれたことが自信につながったはずです。一つ一つの積み重ねで全ての精度が向上し、プレーも良くなりました。また、120名の部員全員がそれぞれのカテゴリーで毎日ひたむきにトレーニングに励んだ成果でもあります。12月13日(水)の初戦までに、さらにそれぞれが努力し、勝利を掴めるまで成長してくれることを信じています。ピッチ上での全力プレーと多くの笑顔にご期待ください。

監督 吉田 卓史



## 主将から一言

学友会サッカー部は、平成29年度中国大学サッカーリーグ(1部)において第2位となり、第66回全日本大学サッカー選手権大会(インカレ)への出場権を獲得しました。昨年、一昨年と全国大会では勝利できず悔しい結果に終わっているため、今年は全国大会での勝利を目標に1年間取り組んできました。しかし、全国大会で勝利する前に、学友会サッカー部のコンセプトである「卒業後に社会で活躍できる人間になる」という目標が前提にありました。それを達成するために、今年はボトムアップ方式という選手が主体性を持ち、自ら考えて行動する新たな方針に切り替えつつあります。選手のみで行えない時は、監督やコーチからアドバイスをいただき、昨年までは監督が1人で行っていた様々なことをキャプテンを中心に選手で行うようになりました。今では、練習時間、練習メニュー、試合のメンバー選考やミーティングを選手で行い、一人ひとりが自律できるようになってきました。試合をビデオを見て振り返り、改善すべき点をいくつかあげ、課題に対しての練習を行い、次の試合までに改善できるようになったのも自分たち自身で課題と向き合い、振り返ることができるようになったからです。毎週火曜日は、練習前にクラブハウスで編集したビデオを見て、何ができて、何ができなかったのかを映像で伝えることで練習に取り組む姿勢が良くなりました。また、毎日早朝6時30分から行っている練習は生活習慣の改善にもつながり、遅刻した選手はその週の試合はメンバー外になるなど、社会に出た後に同じようなことがないように厳しく対処しています。さらに、今年のチームにはどこのチームにも負けない武器があります。サッカー以外のところで、一人ひとりの行動や言動、常にチームのことを考えて行動できることです。しかし、まだまだ甘えている部分が見られるのでそこは徹底して改善していきたいと思いますが、昨年までに比べて0だったものが着々と力をつけることができています。個人的に、今年は部員数が120名にもなり大所帯をまとめ上げるのは難しいですが、小さなことから大きなことまでをキャプテンとして悩めるのは120名のうち、監督でもコーチでもなく自分だけなんだと思いました。苦しかった時期もありましたが、今では悩めることに喜びを感じるくらいに成長しましたし、毎日が成長の種で人生で一番充実している1年になっています。

こうしてサッカーに全力で取り組めるのも、監督やコーチ、スタッフの方々、そして大学側の全面的なサポートがあってからこそだと思います。様々な面でサポートしていただけることに改めて感謝し、全国大会に向けて全力を尽くします。そして、必ず勝利して大学に恩返しができるように頑張りますので、今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

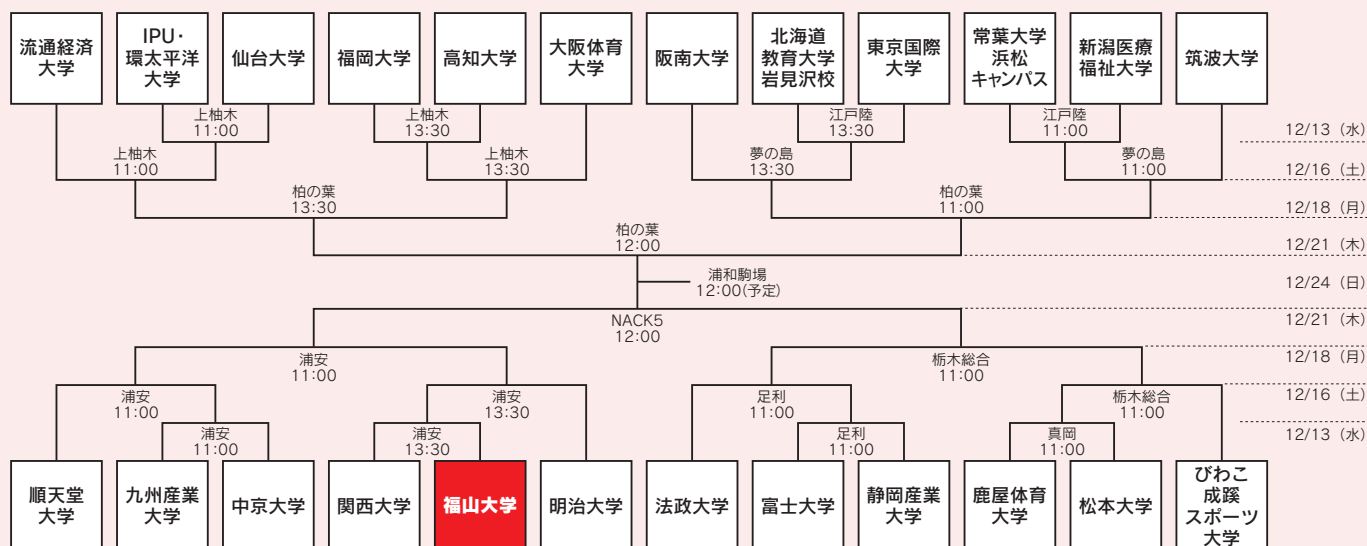
経済学科 4年 中山 翔



## 出場選手のコメント（登録メンバー30名）

背番号	氏名	ポジション	学年	出身高等学校	身長	体重	プレーの特徴
1	藤原真之介	GK	2	和歌山県・初芝橋本高等学校	182	73	最後の番人
2	塚本 和輝	DF	1	広島県・如水館高等学校	179	68	対人の強さが武器のS B
3	藤井 敦也	DF	3	広島県・広島県瀬戸内高等学校	170	62	福山大学1番の頭脳派プレイヤー
4	畑 裕喜	DF	3	静岡県・東海大学付属静岡翔洋高等学校	173	72	敵を粉砕する気持ち君
5	中山 翔	DF	4	広島県・如水館高等学校	170	62	チームを作り上げたリーダー
6	青竹 翔太	MF	1	千葉県・東京学館高等学校	169	58	1本のパスでゴールに結びつける
7	鈴木 輝隆	MF	4	栃木県・佐野日本大学高等学校	173	63	正確なキックが持ち味のC.ロナウド
8	平山 諒	MF	3	鹿児島県・神村学園高等部	165	52	福岡からやってきたマジシャン
9	小田 周平	FW	3	島根県立大社高等学校	171	67	誰も追いつけないスピードスター
10	村上 大弥	FW	4	広島県・如水館高等学校	173	65	チームを勝利に導くエースストライカー
11	崎山 蒼斗	FW	1	鳥取県・米子北高等学校	168	63	縦横無尽に走るFW
12	小西 智也	GK	2	大阪府・清明学院高等学校	170	65	正確なバントキックが持ち味のG K
13	後藤 誠夢	DF	2	鹿児島県・神村学園高等部	167	63	安定したサイドバック
14	安山 大樹	FW	3	福岡県・筑陽学園高等学校	174	64	誰も止められない異次元ドリブラー
15	喜多 師史	MF	3	福岡県立三潁高等学校	165	60	奪われたボールはここでシャットアウト
16	泉 勇也	FW	1	島根県・立正大学浜南高等学校	170	64	どんな角度からでもゴールを決める
17	野村 一稀	MF	4	岡山県・岡山県作陽高等学校	169	68	左足のキックが武器の司令塔
18	大石駿之介	MF	3	栃木県・佐野日本大学高等学校	162	58	左サイドからドリブルでゴールに迫る
19	小倉 貴太	MF	1	愛媛県・新田高等学校(愛媛ユース)	172	68	カットインからのシュートが武器
20	大塚 一輝	FW	3	広島県・広陵高等学校	171	57	正確なシュートでゴールを量産
21	山下 翔也	GK	1	富山県立富山北部高等学校(富山ユース)	180	75	1対1のセービングが光るG K
22	渡邊 翼	FW	2	広島県立広島皆実高等学校	169	62	福山大学の全力少年
23	林 智弥	DF	2	熊本県・秀岳館高等学校	173	62	カバーリングの広さが持ち味
24	竹田 大地	MF	2	島根県立大社高等学校	173	63	一瞬の動きでボールを奪いきるMF
25	山本 悠雅	DF	2	高知市立高知商業高等学校	170	66	両足から繰り出されるロングキック
26	和氣 武蔵	MF	3	福岡県・筑陽学園高等学校	162	58	チームを鼓舞する守備職人
27	松下 大祐	FW	1	宮崎県立宮崎工業高等学校	180	67	新人大型FW
28	高野 優太	FW	1	鹿児島県・鹿児島城西高等学校	170	60	キープ力NO.1
29	坂本 駿	MF	2	広島県・広島県瀬戸内高等学校	163	59	縦へ突破が魅力的
30	窪木 翔吾	FW	1	福岡県・東海大学付属福岡高等学校	175	75	力強いドリブルが武器のルーキー

## 平成29年度 第66回全日本大学サッカー選手権大会トーナメント表



### 編集後記

サッカー部の第66回全日本大学サッカー選手権大会への出場を記念して、学報の号外を発行しました。2017年度中国大学サッカーリーグ(1部)では惜しくも優勝を逃しましたが、2年ぶりに同大会への出場を獲得されたサッカー部の皆さんに、心よりお祝いを申し上げます。全国大会でもその実力が十分に発揮できるよう、学生及び教職員の皆さんで応援しましょう!

発行 福山大学  
編集 福山大学広報委員会  
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵  
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>